



ふく・わた この1年

2021年度事業報告書

◀ 福島県地域創生総合支援事業補助金助成事業

バーチャルコットンツアー & SDGs研修受け入れ事業を中心に ▶

一般社団法人ふくしまオーガニックコットンプロジェクト

# 代表挨拶



2012年から動いてきた「ふくしまオーガニックコットンプロジェクト」を、直接関わる個人や組織の手で舵取りできるものに編成し直そうという試みは、2019年度から構想として内部で語られていたものでした。しかし、なかなか組織づくりができぬままに年を重ねていました。そして、ようやく2021年度のスタート時点で「一般社団法人ふくしまオーガニックコットンプロジェクト」(略称ふく・わた)として歩み出すところまで、到達することができました。

そして、2021年度は福島県からの助成金を頂きながら、先ずは組織体としての基盤整備とコロナ禍の中でも実施し得る事業運営を一つずつ重ねてきました。1年間の取り組みの中から、プロジェクトのもつ熱量を感じて頂けたら嬉しいと思います。

2022年3月22日

一般社団法人 ふくしまオーガニックコットンプロジェクト

代表理事 吉田恵美子

代表プロフィール

大学卒業後一旦教壇に立ったが、福島県いわき市に戻り専業主婦となる。社会とのつながりを求め、仲間と1990年ボランティアグループザ・ピープルを立ち上げ、古着リサイクル活動を中心に住民主体のまちづくりを実践。東日本大震災後、被災者・避難者支援活動をきっかけに地域のNPOの連携組織で住民自身の手による未来づくりに取り組む。

いわき市民間国際交流・協力団体連絡会事務局長 災害支援ネットワークいわき副会長

受賞歴：国際交流基金地球市民賞理事長特別賞受賞・いわき市市政功労賞（ザ・ピープル）

チャンピオン・オブ・チェンジ受賞

著書：早稲田大学ブックレット「震災後」に考えるシリーズ35 『フクシマから日本の未来を創る－復興のための新しい発想』 共著 編者：松岡俊二・いわきおてんとSUN企業組合（株式会社早稲田大学出版部）

## 《ふくしまオーガニックコットン プロジェクトとは…》

東日本大震災後の福島県浜通りで、2012年から在来種原種に近い茶色い綿花を、農薬や化学肥料を全く使わない有機農法で栽培しています。地域の農家だけではなく、首都圏をはじめとする地域外から足を運んで下さる方々や、企業や団体、地域で育つ子供たち、原発避難によりいわきで暮らすようになった方々、避難元の町村に帰還された方々など、様々な立場の方々との交流を重ねながら栽培を続けています。

更に、収穫された綿花は、プロジェクトの仲間の組織により国内の工場加工され、製品化が進められています。また、地域内での女性たちの手による手仕事創出という流れも生まれています。

震災後の動きの中でのつながりや気づきが、このプロジェクトを支える基盤となっています。

# 《ふく・わたとは…》

ふくわた

ふくしまオーガニックコットンプロジェクトの中でコットン栽培やものづくりを支える組織や個人が、互いに手をとり合ってこの取組みを更に前に進めようと、2021年4月に設立されました。

## 《ふく・わたが目指しているのは…》

有機農法による綿花栽培とその収穫物によるものづくりを中心に、その取り組みに関連して生まれるさまざまな活動や人々の交流を通して、真に豊かな暮らし、地域、未来を紡ぎ出して次世代につなぐことです。(定款記載事項)

## 《ふく・わたが行う事業は…》

- A. 有機農法による在来種の茶綿を主とする**綿花栽培**に関する事業
- B. 綿花栽培を仲立ちとする地域内外の**人的交流促進**の事業
- C. 収穫された綿花を活用して行う**産業創出**事業
- D. 有機農法の実践並びにそれに関する研修事業
- E. **環境配慮型のライフスタイル**の提言並びにそれに関する事業



# 《ふく・わたが2021年度取り組んできた事業の方針と成果は…》

(2021年度事業計画より)

◆正会員の皆様と共に、「ふくしまオーガニックコットンプロジェクト」の実施主体として走り出すための組織の体制づくりを行います。

⇒年度当初の法人立ち上げ以来、12月までは法人理事による定例ミーティングを毎週開催し、組織として動き出すための基盤整備に努めてきました。福島県地域創生総合支援事業補助金の助成を受けられたことで、基盤整備のうちホームページ・Facebookページ・パンフレットといった広報ツールを整備することができました。また、コットン栽培によって得られる収穫物であるコットンの原綿としての出荷について、株式会社起点との契約取り交わしまで年度内に進めることができ、今後のプロジェクトの進展についての懸念事項の一つを解消することができました。一方、事務局体制はまだまだ十分整備が整ったとは言い難く、次年度に向けた課題となっています。

◆活動会員の皆様と共に、コットン栽培を続けることに希望が膨らむような取り組みを検討し、実際の栽培に活かします。

⇒コロナ禍の影響は大きく、今年度の法人としてのツアー受け入れは6件に留まり、法人としての財務基盤を整備することは難しいものがありました。しかし、県補助事業の中でオンラインツアーの開催を試みるなど、新しい取り組みを加えたことで、これまでの復興支援のフェーズから次のフェーズに移行した取り組みとしての立ち位置は明確にすることができました。栽培に関しては、専門家の指導や土壌検査の機会を持つなどして、収量を上げていくための工夫を加えることができました。

◆応援会員として参加下さる方々にとって、参加意欲が高まるような仕組みを作り、支援の輪を広げます。

⇒応援会員へのプロジェクト参画のメリットの提示はまだまだ不十分と言わざるを得ません。事業案内レベルで留まってしまったことには大きな反省が残ります。この報告書の送付を年度内に行うことで応援会員への情報提供になるよう努めていきます。

# 《ふく・わたの1年の歩みは…》

月	事業内容
4月	19日 法人登記
5月	1日 福島県地域創生総合支援事業補助金助成事業 開始
6月	5日 世界環境DAYに開催された「FUTABA・SDGsダイアログ2021～コロナに負けん！はじめっぺSDGs～」(主催:ふたば地域サポートセンターふたすけ)にふく・わたとして出演 20日 ふくしまオーガニックコットンプロジェクト2020年度報告会(主催:特定非営利活動法人ザ・ピープル)内で法人立ち上げを報告
7月	3日 リボーン主催農業体験ツアー(24名)受け入れ みいこ畑 12日 「ふく・わたですべきこと、できることを考える会」開催 みいこ畑に隣接する建物の研修施設としての有効活用に関する第1回専門家指導実施 21日 ホームページ/Facebookページ開設 31日 福島大学食農学類農業専門家による来訪指導
8月	2日 筑波大学院生(12名)農業体験受け入れ みいこ畑 28日 第1回オンラインツアー開催 29・30日 第1回コットン栽培圃場での専門家による来訪指導実施

月	事業内容
9月	5日 農泊全国大会オンライン出席 8日 CSR48セミナー出講
10月	25日 「栽培地のこれからを考える会in天空の里山」開催 みいこ畑に隣接する建物の研修施設としての有効活用に関する第2回専門家指導実施 30日 リボーン主催農業体験ツアー(22名)受け入れ みいこ畑
11月	6・7日 CSR48(7名)研修受け入れ 天空の里山 16・17日 第2回コットン栽培圃場での専門家による来訪指導実施 17日 栽培品種に関する専門家訪問指導実施 27日 第2回オンラインツアー開催 28日 日本経済新聞 和綿記事掲載 福島県主催副業マッチング現地視察ツアー(12名)受け入れ 天空の里山
12月	3日 SDGs研修提供に関する訪問研修実施 5日 ベトナム人インフルエンサー(11名) 農業体験・研修受け入れ 天空の里山 8・9・10日 エコプロダクツ2021に特定非営利活動法人ザ・ピープルと共に「ふくしまオーガニックコットンプロジェクト」として出展
1月	19日 日本土壌協会による土壌の硬度チェック実施 31日 原綿出荷

月	事業内容
2月	1・2・3日 東洋大学国際社会学演習(12名)受け入れ 天空の里山・カジロ 4日 栽培品種に関する学習会開催 18日 2021年度の栽培を振り返る会開催
3月	7日 有機農業と農家民泊事業先進地視察会開催 11日 中間貯蔵施設でのコットン栽培に関する現地視察 22日 ふく・わたこの1年編集完了・配布



# 2021年 活動計算書 (2022年3月22日時点 見込み)

## 収入の部

科目	決算額	内訳
会費収入	366,000	正会員6件・活動会員6件・応援会員25件
事業収入	846,327	オンラインツアー参加費・ツアーコーディネート料 ほか
補助金	1,289,000	福島県地域創生総合支援事業補助金
借入金	1,203,776	役員借入
計	3,705,103	



## 支出の部

科目	決算額	内訳
仕入れ	43,6982	原綿買い上げ・販売用手ぬぐい地およびTシャツ
報償費	285,000	バーチャルコットンツアー協力者謝金 40,000円(7名分) 専門家指導・先進地視察講師謝金 140,000円(大和田順子・NPO法人ゆうきの里東和ふるさとづくり協議会・遊雲の里) 栽培・栽培品種に関する専門家指導・学習会の配信業務専門家謝金 10,5000円(明神敬一・森和彦・いわきおてんとSUN企業組合)
委託費	918,000	バーチャルコットンツアー企画制作・運営一式 209,000×2回=418,000円(福や) ホームページ・Facebookページ・パンフレット作成業務一式 500,000円(さとゆめ)
旅費	140,208	スタッフ旅費・講師旅費
印刷製本費	132,150	コピー代 31,500円(特定非営利活動法人ザ・ピープル) バーチャルコットンツアー広報物印刷代 47,850円(福や) 取り組み報告パンフレット印刷代 52,800円(ぶるめりあ)
消耗品費	425,925	オンラインツアー調理教室試作用食材 12,000円(柳生菜園畑の会ほか)・貸出用チャルカ10台 105,000円(木工房大空)・コットンランプ試作用材料費 10,000円(いわきおてんとSUN 企業組合)・リース試作品材料費14,900円(柳生菜園畑の会)・用紙代・宛名ラベルプリンタ用紙・包装材・和紙ほか
通信運搬費	132,848	郵送料・宅配便運賃(39件)
使用料・賃借料	188,327	オンラインツアー配信機材借上げ料 110,000円(福や)・視察研修会マイクロバス借上げ費用 55,347円・会場費
租税公課	112,250	定款承認(公証役場)・印紙代
手数料	5,040	振込手数料
返済金	928,373	役員借入返済金
計	3,705,103	
収支差額	0	

2021年度福島県地域創生総合支援事業(サポート事業)

# バーチャルコottonツアー & SDGs研修受け入れ事業 活動報告

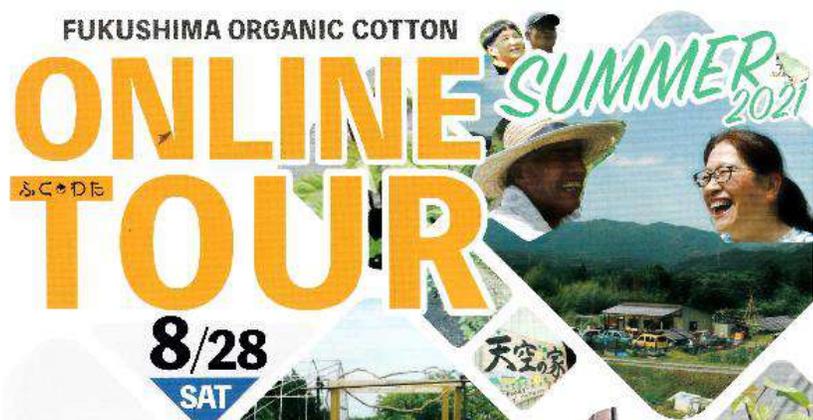


## 《事業内容》

- ◆WITHコロナ期としてオンラインツアーの開催
  - 新たな魅力創出・発信
- ◆プロジェクトの持つメッセージ性の再確認
  - SDGsに関わる活動であるとの認識
  - SDGsについて学ぶ研修事業開発
  - 地域の企業・団体・教育機関などに受講への働きかけ
  - 環境配慮型ライフスタイルなどに対する意識向上に寄与できるプロジェクトへ
- ◆組織体制を整備・内部研修・研修プログラム開発

事業実施期間 2021年5月1日～2022年3月31日

# 第1回オンラインツアーの実施



一般社団法人 ふくしま  
オーガニックコットンプロジェクトによる  
オンラインツアー夏編開催決定!!

オーガニックコットン畑の最新情報、  
糸つむぎの実演、無農薬で育てた夏野菜を  
使った料理の紹介、近郊の見所スポット等々、  
盛り沢山な内容をお楽しみいただきます。

【日程】8月28日(土)13:00～15:30  
(ツアー120分+懇親会30分)

【定員】30名

【参加費】5,000円(ツアー参加費、お土産代)

お土産付き 天空の里産 無農薬お野菜BOX (夏野菜5-6種類ほど)

【参加方法】インターネット配信(ZOOM)

【申込案内】HP「オンラインショップ」から、ツアーチケットをお申し込みください。

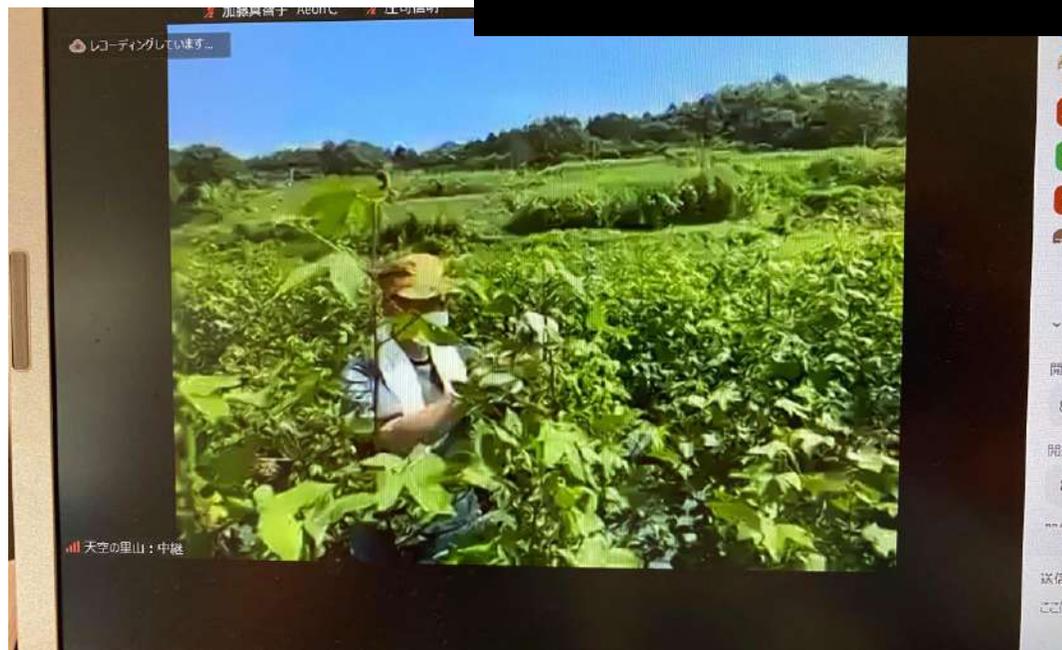
お申し込みこちらから→ <https://fukuwata.official.ec/>

【主催】一般社団法人ふくしまオーガニックコットンプロジェクト  
 ≪問い合わせ先≫ E-mail [info@fukushima.organic](mailto:info@fukushima.organic)

福島県産品販売促進協議会(リポート事業)補助金助成事業

お土産付

料理紹介



# 第2回オンラインツアーの実施

## オーガニックコットンの オンラインツアー初冬編開催決定!!

福島県地域創生総合支援事業(セゴト事業)補助金助成事業

福島のオーガニックコットン畑では、今が収穫の最盛期です。  
第2回目となるオンラインツアーでは、コットン畑の実りの季節を味わいながらこの季節ならではの恵みを生かした「ものづくり」を体験いただきます。  
コースは2つ。1つは実際に手紡ぎ用のチャルカを使って糸紡ぎ体験と、出来上がった糸を使って自然エネルギーで灯すランプ作りのコース。  
もう一つは、里山の季節の恵みでオリジナルリースを作り上げるコースです。  
もちろん近郊の見所紹介も忘れてはけません。  
ぜひ一緒にお楽しみください。

コットンを使った  
ものづくり体験

## ふくしまオーガニックコットンプロジェクト オンラインツアー

- コース
- ①チャルカ糸紡ぎ&ランプ作り
  - ②コットンリース作り

【開催日時】11月27日(土)13:00～15:30  
(ツアー-120分+懇親会30分)

【定員】30名 ①②各コース定員15名

【参加費】4,000円

【お土産】体験キット、コットンボール、コットンの種、旅のしおり

- ①コース体験キット チャルカ+コットンランプ \*チャルカは終了後返却頂きます。
- ②コース体験キット リースキット

【参加方法】Zoom(オンライン会議ツール)

【申込案内】HP「オンラインショップ」から、ツアーチケットをお申し込みください。

ふくしまわた  
http://www.fukushima.organic/

【主催】一般社団法人ふくしまオーガニックコットンプロジェクト <問い合わせ先> info@fukushima.organic



# 実施概況

## 第1回

SNS等での事前告知により参加者を募り、満席となる31名の参加を得ました。開催日の数日前に参加者向けのお土産品として「天空の里山」で栽培された有機野菜のセットを送付。四倉町の「天空の里山」からの中継を中心に、ふくしまオーガニックコットンプロジェクトの取組み紹介や地域（いわき市久ノ浜地区）の魅力紹介などを2時間のオンラインツアー形式で配信しました。先に送付した野菜を活用しての料理教室（ガパオライスなどを紹介）も実施しました。

## 第2回

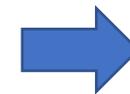
「オーガニックコットンの糸紡ぎ+コットンランプ作り」「リースづくり」の2つのものづくりコースという企画での募集でした。前回と比較してものづくりということで「難しそうだ」という感じを持たれたのか、参加応募は低調で、30名募集のところ18名の参加に留まりました。参加者に対して、それぞれのコースごとに必要な材料をお土産として事前に送付。それに加えて収穫されたコットンやコットンの種なども送り現地の雰囲気少しでも感じてもらおうと努めました。配信では、プロジェクトの進捗を伝えたほか、遠野町にある「みいこ畑」の中継、遠野町の地域紹介などを前半で行い、後半はものづくり教室をそれぞれのコースごとのブレイクアウトルームで行いました。



# 提供できる研修内容の充実と組織力の強化



地域力創造アドバイザー 大和田順子氏によるSDGs関連研修メニュー整備と組織内の取組みに対するアドバイスを受けての検討を重ねる



次年度実証実験段階へ

SDGs研修のベースとなる各コットン栽培地の魅力を向上させるために、本法人がどのように関与していく必要があるのかを7月12日の集いで出し合い、その後の事業の方向性が定まりました。この会の講師としては、ロハスビジネスアライアンス共同代表大和田順子氏を招聘しました。また、大和田氏からのアドバイスを受けたことで、農家民泊事業を組み合わせることで、SDGsの具体的な取り組み事例としてオーガニックコットン栽培などの農業体験を提供する展開が可能であるとの共通認識が確認されました。

こうした取り組みの先進事例として、3月7日に二本松市東和のNPO法人ゆうきの里東和ふるさとづくり協議会・農家民泊遊雲の里などでの視察研修を行いました。そこでは、地域の様々な主体との協力体制の構築の必要性が強く意識されました。

12月3日に行った専門家訪問指導では、今後SDGs研修事業のキーポイントとなる農泊事業やフェアトレード的な商品販売の展開について、大和田氏の紹介で今後連携可能な主体を訪問し、意見交換をすることが出来ました。



# 栽培スキルを磨く



NPO法人ペットチャルカの広場 代表  
明神敬一氏による各圃場での来訪指導



日本オーガニックコットン協会 前理事長  
森和彦氏による栽培品種に関する訪問指導

# 広報ツールを整える

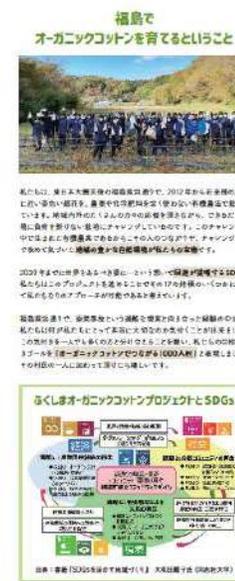
## ホームページ・Facebookページ・パンフレットの整備



URL:  
<https://fukushima.organic>



URL:  
<https://www.facebook.com/fukushimaorganic>



# 実施概況

本プロジェクトが、参画する団体や農業者による主体的な事業推進力を保持し、オンラインコットンツアーや研修事業の広報にも役立てるため、以下の取り組みを行いました。

ホームページおよびFacebookページの作成と広報用パンフレットを作成。これらのツールは、今後実際に首都圏の企業・団体等への一般社団法人としての営業活動にも活用できるものとして、ある程度のクオリティを求めて作成しました。

プロジェクトに現在参画している主体の輪を広げること、オンラインツアー参加者がコットン栽培への関心を深めること、その双方の目的でオーガニックコットンについて学び、その栽培スキルを高める専門家による指導を4回にわたって実施しました。講師として、日本オーガニックコットン協会前理事長森和彦氏、NPO法人ペットチャルカの広場理事長明神敬一氏を招聘しました。

更に、今年度の栽培を振り返る会を開催。参画者の認識を揃えるための場としました。



# SDGs研修の提供事例

11月6・7日 CSR48メンバー研修受け入れ

1日目:正会員団体であるザ・ピープルの活動現場を中心に



2日目:活動会員である天空の里山での活動を中心に



# 参加者の声 CSR48メンバーのレポートより

## 1日目

作業を始める前にザ・ピープルさんの古着の販売所に行って販売されている古着を見学しました。古着と言えどもメッチャ綺麗。袖を通していないと思われるものもたくさんありました。そして部屋の中は古着屋独特の臭いが一切しません。聞けば、ここに持ち込む洋服は保存状態が良いもの、洗濯済みのものどルールを徹底しているとのこと。これは、協力してくれるいわきの人たちとザ・ピープルさんとの間の丁寧なコミュニケーションの賜物です。そのためここにはきれいな状態の洋服だけが集まっているとのことでした。

その後、数時間作業を続けて、結構な量を仕分けしたように思うのですが古着の山は一向に減る様子はありませんでした。凄い量だなあ…。いわき市の人口は32万人。捨てずに古着回収に回っている洋服は、全体の中でも一部でしょう。それでもすごい量でした。同じことが日本中で起きていると思うと…。日本中で日々、気が遠くなるくらい大量の服が不用品として手放されているのだろうなあ、容易に推測できます。



## 2日目

「天空の里山」でのオーガニックコットン収穫。ふわふわの綿を手取るのも楽しく、晴天のもと童心に返り楽しく作業しました。代表をされている福島さんのお人柄と有機栽培への熱い思い、メンバーの皆さんの楽しいトークもあり、日頃、パソコンに向き合っていてサステナビリティを考えているけれど、原点はこういうところにあるのかしら、とふと感じ…。

一方、古着リサイクル、有機コットンともに手間がかかる作業であり、出す側と欲しい側のマッチングが重要で(モノ・人)、法律など大枠の仕組みづくりと、地域循環の小さく回す仕組みの両軸で、皆でアイデアを出し合っていきたいなあと思います。

「天空の里山」でコットン収穫体験。こちらは約1年半の8割を自宅でテレワークしてきた私には、久しぶりの土の上を歩く感覚。フワフワのコットン“するん”と収穫。ここからごみを取り除き、解いて、糸を紡いで…とてつもない作業です。

アパレルや繊維産業でなくても、服を着ていない人はいないから、多くの人に体験してほしい！と思いました。川上と川下をたった2日で首都圏から行って体験できるなんて、実はすごく貴重だと思う。皆さんの会社でも如何ですか？



# 新聞報道から 日本経済新聞2021年11月28日号 NIKKEI STYLE

## Japanese Cotton 持続可能へ 地域色や再利用



徳島県三好市の綿花畑。収穫作業が本格化する。



綿花の繊維は、繊維質の多い野菜や果物の皮などに含まれる。繊維質は、消化や腸内環境を整えるのに役立つ。



徳島県三好市の綿花畑。収穫作業が本格化する。

【徳島県三好市】徳島県三好市の綿花畑。収穫作業が本格化する。綿花の繊維は、繊維質の多い野菜や果物の皮などに含まれる。繊維質は、消化や腸内環境を整えるのに役立つ。

徳島県三好市の綿花畑。収穫作業が本格化する。綿花の繊維は、繊維質の多い野菜や果物の皮などに含まれる。繊維質は、消化や腸内環境を整えるのに役立つ。



【徳島県三好市】徳島県三好市の綿花畑。収穫作業が本格化する。綿花の繊維は、繊維質の多い野菜や果物の皮などに含まれる。繊維質は、消化や腸内環境を整えるのに役立つ。

GRAN LEB HILLS 千葉 葛飾

京部・上野の邸、静寂を聴く

和風の内装、北京料理、相談会開催中

03-5622-5061

## Japanese Cotton 復活劇支える 情熱と研究



徳島県三好市の綿花畑。収穫作業が本格化する。



徳島県三好市の綿花畑。収穫作業が本格化する。



徳島県三好市の綿花畑。収穫作業が本格化する。

【徳島県三好市】徳島県三好市の綿花畑。収穫作業が本格化する。綿花の繊維は、繊維質の多い野菜や果物の皮などに含まれる。繊維質は、消化や腸内環境を整えるのに役立つ。

徳島県三好市の綿花畑。収穫作業が本格化する。綿花の繊維は、繊維質の多い野菜や果物の皮などに含まれる。繊維質は、消化や腸内環境を整えるのに役立つ。

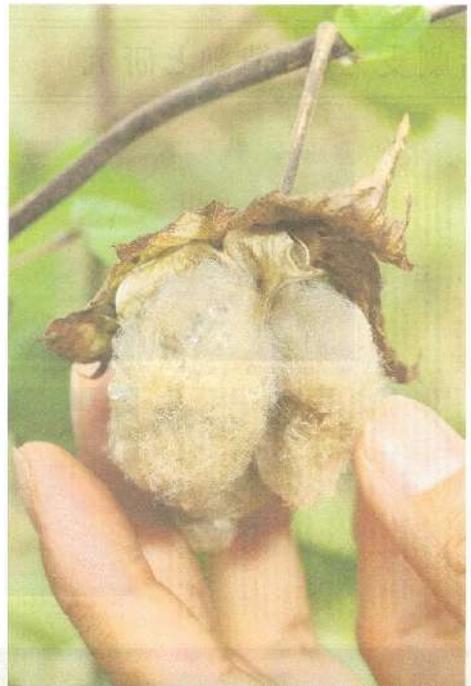
和洋 よし田

新築の高級、特別なお祝い

和洋 よし田

和洋 よし田

こんな日曜日が待ち遠しい。 NIKKEI TheSTYLE



## Japanese Cotton

### 和綿 3度目の挑戦

和綿を見たことがあるだろうか。かつては数になると、日本のあるところで日々綿色の装束はかかっていたが、海外産の綿が流入し、すっかり姿を消してしまっただけでなく、それが産地を遠くにつなぐ。そこにはビジネスだけでなく、作り手への情熱と社会の意識の覚悟が織り込まれたストーリーが隠れている。歴史的に3度目となる普及に備え、和綿のいまを語った。



歩みを更に進めるために、ご支援を頂ければ嬉しいです。

# ふく わた

- ◆ 名 称 : 一般社団法人ふくしまオーガニックコットンプロジェクト
- ◆ 目 的 : 有機農法による綿花栽培とその収穫物によるものづくりを中心に、その取り組みに関連して生まれるさまざまな活動や人々の交流を通して、真に豊かな暮らし、地域、未来を紡ぎ出して次世代につなぐための事業を目指します。(定款より)
- ◆ 略 称 : ふく・わた
- ◆ 設立日 : 2021年4月19日
- ◆ 所在地 : 福島県いわき市泉町三丁目14番地の1
- ◆ 役 員 : 代表理事 吉田恵美子  
理 事 大瀧知子 福島裕  
監 事 吉田充
- ◆ E-mail : [info@fukushima.organic](mailto:info@fukushima.organic)
- ◆ U R L : <https://fukushima.organic>